

事業番号	10 03 01	事業改善シート（令和8年度実施事業分）	■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検
事業名	県産材の利用を促進する事業	部局 実施期間 S60 ~	林務部 E-mail mokuzai @ pref.nagano.lg.jp

## 1 現状と課題

- ・令和6年度民有林森林資源（蓄積）は、140,000千m<sup>3</sup>を超えており、着実に充実しつつある。直近5年間の木材需要動向では、製材用（R6年木材生産量：製材用150千m<sup>3</sup>）および合板用（R6年木材生産量：合板用211千m<sup>3</sup>）への需要は減少したもの、バイオマス発電等の需要増加（R6年木材生産量：バイオマス用208千m<sup>3</sup>）に伴い、木材生産量は564千m<sup>3</sup>（R1）から657千3（R6）へ増加した。
- ・新設住宅着工数の内、木造住宅着工数が9,269戸（R1）から8,375戸（R6）、また延床面積が1,006千m<sup>2</sup>（R1）から843千（R6）と減少する中で、県内の製材品出荷量は96千m<sup>3</sup>（R1）から83千m<sup>3</sup>（R6）へ減少しており、製材分野への活用推進が課題となっている。
- ・こうした中、品質の確かな県産材製品を製造し、今後需要の拡大が見込まれる非住宅分野への活用に加えて、県産材製品等の利用拡大を通じて、地域へ利益を還元することが求められている。
- ・また、いわゆるウッドショック等の社会情勢に左右されにくい木材供給体制の構築が求められており、県産材の加工・流通、木質バイオマス利用促進に係る事業体への支援や川上から川下までの事業者同士の水平・垂直連携を支援することで、安定的な県産材の供給体制の構築を図る必要がある。

## 2 事業目的

県産材利用促進条例の趣旨に則り、県産材の率先利用といった基本的施策を確実に講じるため、森林資源の有効活用により地域内経済循環を促進するとともに、県産材の付加価値向上・普及啓発や安定的な県産材供給体制の構築を通じ、県産材の利用促進を図る。

## 3 事業目的を達成するための取組

### ①県産材製品の需要拡大

- ・県産材の普及啓発を図るため、民間施設・公共施設等における木造・木質化を支援
- ・木造建築における県産材利用の増拡大に向けた課題を整理するため、  
県産材利用実態調査を実施
- ・【拡】木造セミナー、製材事業者と工務店等が連携して取組む県産材の普及啓発活動への支援 薪、ペレットストーブの普及イベント
- ・県産ペレット等木質バイオマスの消費の拡大に向け、個人向けペレットストーブ導入の支援、  
県民向けの普及啓発を実施
- ・アカマツ材の有効活用を図るため、県外需要動向等の調査、マーケティングの方向性を整理  
するとともに、活用に向けた体制構築を支援



### ②木材産業の振興

- ・県産材の加工・流通、木質バイオマス利用促進を図るため、木材加工施設や  
木質バイオマス利用促進施設等の整備を支援
- ・木材産業の事業者が運転資金を確保できるよう、低利子での融資を実施



木造・木質化施設

### ③安定的な県産材供給体制の構築

- ・県産材製品を加工する事業者同士の連携体制や顔の見える供給体制を構築、需要開拓を推進するため、信州ウッドコーディネーターを派遣
- ・県産材製品マーケティング調査等を実施
- ・【拡】JAS構造材の供給体制を整備し、需要者に適時供給できる体制を構築



信州ウッドコーディネーター



木材加工施設

## 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし –：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移		見込	推移			
①	木造・木質化等の箇所数	箇所	7 (7)	12 (19)	↗	8 (27)	↘		11	△	長野県森林づくり県民税に関する基本方針においてモデル的な木造施設等の整備を5年間に55箇所支援することが長期目標であるため、11箇所を目標とする（括弧書きは累計）。
②	製材品出荷量	千m <sup>3</sup>	87	83	↘	R8.9月 判明	–		145	△	長期目標として、長野県森林づくり指針により、令和9年度に153千m <sup>3</sup> とすることとしており、段階的に増加させる中で目標値を設定した。
③	新たな水平・垂直連携体制の構築	件	2	3	↗	2	↘		2	△	連携体制の構築は、コーディネーターの継続的な取組により成果が上がっており、これまでの実績等を踏まえ連携構築件数の目標を年間2件とする。

## 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	☆林業産出額(うち木材生産)	百万円	2021 (R3)	7,413	2022 (R4)	8,790	2023 (R5)	7,484	2027 (R9)	7,170
2-1①	成長産業の創出・振興	木材生産量	千m <sup>3</sup>	2022 (R4)	629	2023 (R5)	629	2024 (R6)	657	2027 (R9)	830

## 6 事業コスト

(単位:千円、人)

区分		予算額				決算額		職員数	
		前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)				
R8年度	予算案		2月上旬公表予定		0	0		18.1	
	要求		750,355		750,355	22,648			
R7年度		586,255	407,088	20,000	1,013,343	18,624		18.3	
R6年度		383,760	311,655	582,282	1,277,697	18,082	663,107	18.0	

事業番号	10 03 01	細事業一覧（令和8年度実施事業分）	■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検
事業名	県産材の利用を促進する事業	部局	林務部 課・室 県産材利用推進室

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
1	<b>木造・木質化支援事業</b>	40,000 千円	62,000 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 68,000 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	広く県民が利用する施設等の木造・木質化	補助金 直接	【拡】民間施設等の木造・木質化等の支援 県有施設の木造・木質化等の推進 木造・木質化等の箇所数11箇所	
2	長野県産材CO2固定量認証	直接	木材のCO2固定効果が地球温暖化防止に貢献することをPRするため、県産材住宅等のCO2固定量の認証と制度の普及啓発を行う。 認証数9件以上	
3	木工体験の推進支援	補助金	子どもが行う木工教室、木工工作に関するコンクールの開催を支援 木工教室4回以上、木工工作に関するコンクール1回	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
2	<b>信州の木と住まいの総合対策事業</b>	968 千円	1,403 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 1,465 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	普及啓発経費支援	直接	県産材の利用促進を図るため、県内と県外（首都圏、中京圏等）の建築士など施工者側への普及啓発を実施。 普及啓発活動3回	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
3	<b>木質バイオマス循環利用普及促進事業</b>	6,600 千円	7,212 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 5,750 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	個人向けペレットストーブ等導入支援	補助金	ペレットの利用拡大を図るため、ペレットストーブ等購入支援 ペレットストーブ等購入支援70台	
2	木質バイオマスの普及啓発	委託	薪ストーブ、ペレットストーブ等の普及に係るイベントの実施 普及啓発活動1回	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
4	<b>木材産業成長産業化促進対策事業</b>	34,500 千円	102,850 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 416,707 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	木材加工流通施設整備費 木質バイオマス利用促進施設整備費 木造公共施設整備	補助金	木材産業の競争力強化を図るため、県産材の加工・流通と木質バイオマスの利用を促進する施設整備を支援 県産材を利用し、建築する公共建築物に対し支援 対象施設の整備 6箇所	

細事業No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
5	<b>地域木材産業活性化推進事業</b>		196,682 千円	196,669 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 196,669 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	木材産業等高度化推進資金貸付 農林漁業信用基金償還金	貸付金	木材産業の育成強化及び活性化を図るため、運転資金の低利の融資を実施 貸付 1件以上		

細事業No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
6	<b>ウッドもっとつなぐ事業</b>		12,500 千円	12,492 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 14,000 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州ウッドコーディネーターの派遣	委託	信州ウッドコーディネーターを都市圏自治体や大手ビルダー、県内の製材工場等へ派遣し、県内の木材加工事業者同士の連携体制や顔の見える供給体制構築を支援 信州ウッドコーディネーター活動回数 210回		
2	県産材製品マーケティング	委託	県産材の利用拡大に向けて、流通状況等を正確に把握するため、木材市況調査及び木材流通調査のほか、製材所等へ製品や納期等のヒアリング調査を実施 マーケット調査 1件		

細事業No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
7	<b>信州の木供給体制整備事業</b>		— 千円	19,462 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 17,764 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	JAS製材品供給拡大支援	補助金 直接	【拡】非住宅建築物において需要が見込まれるJAS材の安定供給を図るため、大径材にも対応したJAS構造材の供給体制を整備 JAS構造用製材工場 2件		
2	木造建築の県産材利用実態調査・検証	委託	木造建築における木材利用状況、調達の取り組み、連携体制等を調査し、県産材利用実態の把握及びその利用増拡大のための基礎資料の作成 基礎資料の作成 1件		
3	県産材利用推進 木造セミナー	委託 補助金	【委託】建築士など施工者側への木造に対する理解を深め、県産材の住宅・非住宅分野への利用促進を図るための普及啓発・広報やセミナーを実施 【拡】【補助金】県産材の魅力をPRするため、製材工場と工務店が連携して県産材をPRする取組に対する経費に支援 木造セミナーの実施 1件、県産材をPRする取組 5件		

細事業No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
8	<b>信州アカマツ等販路拡大事業</b>		— 千円	— 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 30,000 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	市場調査、取組支援	委託	県外の素材生産、流通、利用状況等を調査し、マーケティングに係る分析。合わせて実施方針を決定するための検討会議の運営及び各補助事業者への指導・助言 県外事業者へのヒアリング調査 1件、検討会議の運営 1団体		
2	販路拡大、付加価値向上	補助金	新たな商品開発のほか、材の調達から販路展開を行うモデル的な取組を支援 商品開発等に係る支援 13件		